



# NEWS LETTER Vol.4

# 農業委員会だより

本号では、地域農業の現状や取り組みを学ぶために行った研修の様子を紹介します。鷹栖町や美瑛町、ピンネ農業公社など、さまざまな現場を視察し学ぶことができました。またこれまでの活動の報告やお知らせを載せていますので、ぜひご一読ください。

1p…表紙 2p…道内研修報告 3p…活動報告 4p…あっせんについてのお知らせ他



## 菊池会長より挨拶

カラー版が見たい！バックナンバーを見たい！という方はこちらから↓



春の訪れとともに、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より農業委員会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。第25期農業委員の体制で約2年8ヶ月が経過しました。この間、振り返ると多くの成果や新しい取り組みを行うことができたと顧みるとともに、解決すべき課題も残っています。今後も課題に取り組み、より良い農地行政を実現するために尽力してまいります。このたび4回目の農業委員会だよりを発行します。農地行政だけでなく、地域にとって有益な情報をお伝えすることが、委員会としての大きな役割だと考えておりますので、ぜひご一読いただき、今後の活動に役立てていただければ幸いです。今年1年が皆様にとって、健やかで実り多い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

# 農業委員道内研修活動報告

令和7年10月27日から29日の3日間に渡り、道内4か所の研修先を訪問し、地域農業の現状と取り組みについて学ぶことができました。研修では、6次産業化や外国人労働者の積極的な登用、新規就農者の支援、担い手確保の取り組み、目標地図の活用、あっせん制度、各種農業支援対策など、多岐にわたるテーマを学ぶことができ、今後の地域農業施策に活かせる知見を得る貴重な機会となりました。

## 地域計画のモデル地域である鷹栖町に行きました！

鷹栖町農業委員会様の研修では、町の概要から具体的な農業委員会事務に至るまで、丁寧にご説明いただきました。将来の農地利用を明確化する地域計画については、鷹栖町がモデル地域に指定されており、早期から目標地図の作成とブラッシュアップに取り組まれている点が大変印象的でした。

営農体系は水田中心であることから本町とは異なる部分もありますが、あっせん方法や農地バンクとの関わりなど、農業委員会活動における共通の課題について意見交換を行うことができ、大変有意義な研修となりました。

また、鷹栖町の特徴的な取り組みとして、あっせん時期を年1回に集約して実施している点が挙げられます。これにより、農地利用調整が円滑になり、営農計画も立てやすくなるなどのメリットがあるとのことでした。本町においても、耕作者・農地所有者双方にとって利点があり、五月雨的なあっせんの解消にもつながることから、この方式を採用すること決定しました。詳細につきましては、4ページをご確認ください。



### 余湖農園 @恵庭市

農産物の6次産業化と労働力不足への対応として、外国人の積極的な登用について学びました。経営面積は約100haで、生産にとどまらず、自社農産物を活用した加工品の製造・販売や農業体験など、多角的な取り組みを行っています。従業員は約100名と大規模で、その約7割を外国人が占めていますが、単なる労働力としてではなく、互いを尊重したコミュニケーションを重視している点が印象的でした。



### ピンネ農業公社 @新十津川町

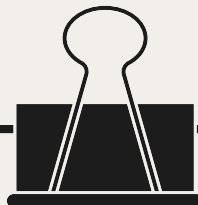
ピンネ農業公社は、町と農協が農家戸数の減少や担い手不足の解消に向け共通の認識のもと設立した団体です。実際の活動や課題について丁寧に説明いただきました。本町でも同様の問題解消を目的に、農業次世代対策協議会を立ち上げて議論を重ねています。こうした課題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、今回の視察で得た知見をもとに、後継者支援の整備など、具体的な解決策を検討していきたいと考えています。



### 美瑛町農業振興機構

美瑛町農業振興機構では、新規就農対策や農業支援策について研修させていただきました。就農対策としては、2年間の手厚い研修プログラムに加え、国や町の各種支援事業を活用した金銭的フォローも行っているとのこと。住宅兼研修施設も完備しており、多角的な支援により新規就農者を呼び込んでいました。本町でも農業者数の増加が課題であり、その参考例として非常に勉強になる内容でした。





## R7.8.31 スポーツ交流会を行いました

## 活動報告①



西部十勝の農業委員会が集まり、委員相互の資質向上や親睦を深めることを目的に毎年開催しています。今回はスポーツ交流会とその後懇親会を行いました。同じ農業委員ですが、それぞれの地域柄によって仕事の内容や取り組み方が違うなど多様なことについて、他町村の委員様と情報交換することができました。またスポーツ交流会の成績も良く準優勝杯を持って帰ることができました。

## R7.9.28 ふるさと産業まつりで今年も大抽選会を行いました！

## 活動報告②

第44回ふるさと産業まつりにて、ドキドキ大抽選会を行いました。今年も抽選券を多めに用意していましたが、沢山の皆様にご参加いただき、全て配布しました。今年が目玉商品はNintendo Switch2でした。品薄状態が続く商品をちゃんと調達できるか不安でしたが、何とかご用意できました。毎年この抽選会を楽しみにしている人もいますので、これからも魅力ある景品を用意してお祭りを盛り上げます。



# これまでの活動まとめ

R7年度中に行いました対外的な活動や研修についてのご報告です。

## R7.10.21 農地パトロール&現地調査を行いました

## 活動報告③

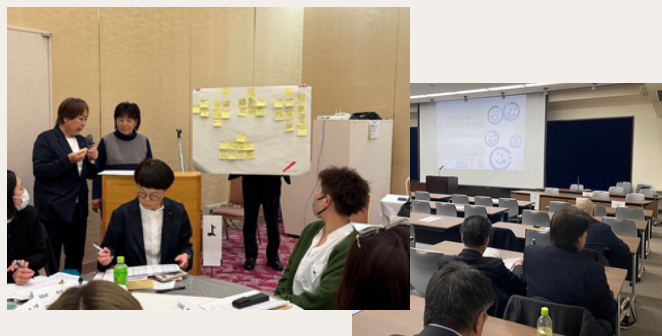


町内一円にて農地パトロールを行いました。畑を一時転用して砂利採取を実施している箇所を確認し、その他の農地についても適正な農地利用がなされているかなどを見回りました。合わせて農地法の申請があった場所の現地調査や、あっせん予定地を見回り、今後のあっせん事務などを円滑に進めることができるように各委員が確認しました。

## R7.12 女性農業委員研修&活動強化研修に参加しました！

## 活動報告④

12月9日に女性農業委員研修に参加しました。与えられた議題についてグループ討議と発表を行いこの問題について理解を深めました。12月16～17日で活動強化研修・農業者年金研究会に参加してきました。活動強化研修は農地転用許可制度について新たに追加された内容について勉強してきました。年金研究会では農業者年金基金の黒田理事長より現在の加入状況や農業委員の目線に立った加入推進活動についてご講和いただきました。



## 農業者年金の新規加入が増えています！

積立方式だから少子高齢化の時代でも安定した制度だね！



令和7年度中（2月まで）に農業者年金に新しく加入した方が17人となりました。全国ランキングでも3位とかなり多くなっています。途中でやめても年金が受けられ、80歳保証付の終身保険です。税制優遇でとてもお得、支払われる年金も公的年金控除が適用されます。国民年金の被保険者で年間60日以上農業に従事されている方は誰でも加入できますので、気になる人は農業委員会に聞いてみたり、農業者年金基金のホームページを見てください！

また基金のホームページが3月から大幅にリニューアルしています。見やすいよう、工夫をされていますので、お手すきの際には是非ともご覧いただければと思います！

## 農地の**売買**、**賃貸借**のあっせん 申し出の《**受付期限**》を設けます

これまで農地のあっせんは随時受付していましたが、1年を通してのあっせん申し出に対して受付期限を設けることとしました。



### 《これまでの問題点》

- 同じ地区から月をまたいで続けてあっせんの申し込みがあり、受け手への配分利用調整がうまくいかなかった
- 春が間近となったあっせんでは種や肥料など営農資材の確保ができず営農計画の変更をしなければならないケースがあった
- 令和7年から農地の賃貸借や売買は農地バンクを仲介することになり、農業公社との連絡調整や事務手続に時間がかかるようになった

### 【あっせんの申し出に期限を設けることで】

- ① その年のあっせん地全体をストックし配分調整することで、受け手の合理的な利用が可能となります
- ② 秋までにあっせんを完了させることで、降雪期の前に農地の適正な状況確認と評価ができ、受け手の営農計画もたてやすくなります
- ③ 農地バンクとも早めに連携ができ必要な予算の確保も可能となります



初めての取り組みですのでご迷惑をおかけしますが、効率的な農地利用、農業経営の推進のためご理解、ご協力をお願いいたします。

### 編集委員会

藤井史織 坂本慎一  
島かおる 加藤元幸  
上村好美

近年の農業を取り巻く環境は、担い手不足や農家戸数の減少、気候変動や市場の変化など、さまざまな課題が重なり合い、一筋縄では解決できない状況が続いています。そのような中で、地域ごとに工夫を凝らした取り組みや支援策が行われており、単に生産を支えるだけでなく、次世代の農業者の育成や地域の活性化にもつながっています。今回の研修を通じて、実際の現場で行われている多角的な取り組みや、課題に対する具体的な解決策を学ぶことができ、大変参考になりました。小規模から大規模まで、地域の特色に応じた取り組みの工夫や先進事例は、本町の農業振興を考えると、上でも大きな示唆を生み出します。これらの学びを、育成、地域全体の発展につなげていきたいと改めて感じています。

### 編集後記

